

論述ブースト No.7

AIと医療を論じる

—— 技術・倫理・社会の3軸で答案を組み立てる

目標：医学部小論文で最頻出テーマのひとつ「AIと医療」について、技術の可能性・倫理的課題・社会的影響の3軸で構造的に論じる力を養う。「AIは便利」という感想から「AI導入の条件と限界」を論証する答案へ引き上げる。

授業の仕掛け（直感への衝撃）

導入：「AIは将来医師を代替しますか？」→「する/しない」と即答する生徒が多い。しかし採点者が見たいのは「どの領域で/どんな条件で/何が残るのか」という構造的分析。

核心：AI×医療の3軸：技術的可能性 / 倫理的課題（説明責任・プライバシー） / 社会的影響（雇用・アクセス格差）

採点者の視点

採点者はここを見ている —— AIと医療・技術・倫理・社会で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ内容でも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しいことを書いていても、論証の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

AIと医療・技術・倫理・社会では、3軸で論じる構造根拠が答案の質を大きく左右します。

② AIと医療・技術・倫理・社会で採点者が見ているポイント

「技術の可能性・倫理的課題・社会実装の3軸で整理した答案」が採点者に「多角的に考えている」と映る

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。結論を出すだけでなく、論証の構造を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「意見があるか」ではなく「なぜそう考えるかを構造的に説明できるか」です。この授業で習得する「論証の骨格」は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所